

教 育 研 究 業 績

2021年5月1日

氏 名 李正勲

学 位 博士（国際関係学）

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
国際関係学、東アジア国際政治、韓国学	東アジア・朝鮮半島をめぐる国際政治、韓国政治経済、日韓関係、韓国語教育	
主要担当授業科目	日韓交流史、近現代日韓関係論、ビジネス韓国語、上級韓国語会話、言語文化演習、卒業研究	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
(1) キーワードを中心とした予習・復習の奨励	2017年4月 ～現在	東京成徳大学専門領域科目「近現代日韓関係論」および「韓国政治経済論」において、キーワードを中心とした予習・復習の奨励し、授業内容の理解向上に努める。
(2) 双方向型授業の実践	2013年3月 ～2015年6月	韓国・仁川大学校文学部専攻科目「日本学特講」、「今日の日本」および「現代日本社会理解」において、双方向型授業の実践に努めた。
(3) レジュメやマルチメディア資料の活用	2010年4月 ～2012年3月	学習院大学法学部政治学科科目「東アジア国際関係I」および「東アジア国際関係II」において、自作のレジュメやマルチメディア資料を活用した。
(4) パワーポイント資料の活用	2008年4月 ～2010年3月	学習院大学文学部総合教養科目「東アジア世界」（オムニバス形式）において、レジュメやパワーポイント資料を活用した
(5) マルチメディア資料の活用	2005年10月 ～2010年1月	明治大学リバティアカデミー「ハングル講座」において、マルチメディア資料を活用した。
2 作成した教科書、教材		
(1) キーワードの解説を中心としたレジュメの活用	2017年4月 ～現在	東京成徳大学専門領域科目「近現代日韓関係論」および「韓国政治経済論」において、キーワードの解説を中心としたレジュメの活用に努める。
(2) レジュメおよびパワーポイント資料の活用	2013年3月 ～2015年6月	韓国・仁川大学校文学部専攻科目「日本学特講」、「今日の日本」および「現代日本社会文化」において、レジュメやパワーポイント資料を活用した。
(3) レジュメおよび参考資料の活用	2010年4月 ～2012年3月	学習院大学法学部政治学科科目「東アジア国際関係I」および「東アジア国際関係II」において、レジュメや参考資料を活用した。
(4) マルチメディア資料などの活用	2005年10月 ～2010年1月	明治大学リバティアカデミー「ハングル講座」において、マルチメディア資料や補助資料などを活用した。

3 教育上の能力に関する大学等の評価		
(1) 授業評価	2013年3月 ～2015年6月	韓国・仁川大学校文学部にて開講した専攻科目「日本文学特講」、「今日の日本」および「現代日本社会文化」において、学生からの高い評価を受けた。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
(1) 訪問学者	2015年9月 ～2016年8月	米国・カリフォルニア大学バークレー校の韓国研究センターに訪問学者 (Visiting Scholar) として滞在した。その成果として「Review of the Nuclear Crisis on the Korean Peninsula: The Reality in the Context of International Relations」(単著) が刊行された。
(2) 国内招聘講演	2014年9月	東北学院大学アジア流域文化研究所主催による公開講演会において、「朝鮮総督府時代における鉱物資源政策の実状—未公開録音記録資料からの考察」の題目で講演を行った。
(3) 客員研究員	2012年4月 ～2014年3月	学習院大学東洋文化研究所と「朝鮮総督府時代における官僚などを中心とした未公開録音記録資料」に関する調査研究協力を努め、その成果として「未公開資料 朝鮮総督府関係者 録音記録」(校註) が刊行された。
(4) フェロウシップ	2010年7月 ～2010年8月	オランダ・ライデンの国際アジア研究所 (International Institute for Asian Studies) のフェロウシップとして招聘され、資料収集や研究者間の交流に努めた。
(5) 海外招聘講演	2005年5月	Clingendael International Energy Programme (オランダ・ライデン) 主催による国際シンポジウムにおいて、「The South Korean Initiative: the Concept of Northeast Asia Energy Cooperation」の題目で講演を行った。
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
(1) 研究所運営全般にかかわる業務の遂行	2007年4月 ～2012年3月	学習院大学東洋文化研究所の助教として、同研究所運営全般にかかわる業務に取り組んだ。
4 その他 (外部研究費の取得状況)		
(1) 「東アジアのコンテクストから再考する日本と朝鮮半島」	2010年4月 ～2012年3月	財団法人昭和会館による研究助成 / 研究代表者
(2) 「オーラル・ヒストリー・アーカイブズ構築の試み」	2008年4月 ～2011年3月	日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金による研究助成 / 研究分担者

(3) 「朝鮮総督府関係資料の調査および公開」		2007年4月 ～2010年3月	財団法人昭和会館による研究助成 / 研究分担者	
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1. North Korea and South Korea	共著	2019年10月	Nova Science Publisher	担当部分：第2章「Rethinking the Denuclearization of the Korean Peninsula Since the Trump Administration」 編者：Émilie Daoust, 共著：李正勲 (Junghoon Lee), Nam Kwang Kyu, Onjung Yang, Gema Perez Tapia、 総頁数 155 頁中、37-67 頁
2. 韓国政治経済論概説	単著	2019年7月	三恵社	単著 総頁数 170 頁予定
3. 韓国鉄道の歴史と発展 3 (한국철도의 역사와 발전 3)	共著	2015年8月	ブックギャラリー (북갤러리)	共著：李容相、李正勲、ほか12名 担当部分：第3章「日帝下鉱物資源政策と鉄道」(일제하 광물자원 정책과 철도) 総頁数 549 頁中、77～104 頁
4. 中国の対韓半島政策	共著	2013年12月	御茶の水書房	編者：中居良文 分担執筆：中居良文、益尾知佐子、渡辺紫乃、李正勲、村主道美 担当部分：第4章「中朝貿易の特徴：地域情勢との相関関係」 総頁数 160 頁中、103～126 頁
5. 学習院大学東洋文化研究所蔵資料紹介—末松保和資料	共著	2012年3月	学習院大学東洋文化研究所	共著：李正勲、長澤洋子、吉田愛、橋本陽 担当部分：共同研究により抽出不可能 総頁数 67 頁
6. 友邦文庫目録	共編	2011年3月	勁草書房	監修：宮田節子、姜徳相 編者：学習院大学東洋文化研究所 共編：李正勲、齋藤亮子、小志戸前宏之、橋本陽 担当部分：共同研究により抽出不可能 総頁数 580 頁
7. 知識は東アジアの海を渡った	共著	2010年1月	丸善プラネット	担当部分：朝鮮総督府関係者録音記録資 編者：学習院大学東洋文化研究所 総頁数 176 頁中、145～146 頁
8. 東北アジア研究論叢	共著	2006年8月	白帝社	編者：依田憲家、王元 共著：李正勲、ほか3名 担当部分：第3章「日本の朝鮮半島政策における関与アプローチ：Japan's Engagement Approach to Korean Peninsular」 総頁数 204 頁中、57～94 頁
(学術論文)				

1. 国際政治における韓国「新軍部」台頭に関する考察	単著	2020年3月	東京成徳大学人文学部・国際学部・応用心理学部『東京成徳大学研究紀要－人文学部・国際学部・応用心理学部－』第27号	[査読付き]、総頁数 172 頁中、15～30 頁
2. The Possibility of Building a Peaceful Regime on the Korean Peninsula Via Multilateral Approaches	単著	2018年9月	East Asia, September 2018, Volume 35, Issue 3	[査読付き]、総頁数 95 頁中、233～248 頁
3. Review of the Nuclear Crisis on the Korean Peninsula: The Reality in the Context of International Relations	単著	2016年12月	Journal of Global Peace and Conflict, Volume 4, Issue 2	[査読付き]、総頁数 89 頁中、21～57 頁
4. 戦後日本のエネルギー政策の形成過程とその特徴	単著	2013年6月	韓国・仁川大学校日本文化研究所『東アジア日本語・日本文化研究』第16集	[査読付き]、総頁数 303 頁中、43～61 頁
5. 朝鮮半島エネルギー開発機構（KEDO）後の非核化問題	単著	2011年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第13号	総頁数 623 頁中、319～337 頁
6. 朝鮮半島における核危機と非核化の行方	単著	2010年7月	立命館大学コリア研究センター『次世代研究者ワークショップ論文集』第3号	総頁数 301 頁中、295～301 頁
7. 継続する核危機と朝鮮半島エネルギー開発機構（KEDO）	単著	2009年6月	早稲田大学	[博士論文]、総頁数 207 頁
8. 東北アジアにおける秩序再編	単著	2008年12月	立命館大学コリア研究センター『次世代ワークショップ論文集』第2号	総頁数 225 頁中、77～101 頁
9. 日本のエネルギー安全保障:安全保障観点の台頭と北東アジアにおける多国間協力の可能性	単著	2006年2月	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科『アジア太平洋研究論集』第9号	[査読付き]、総頁数 317 頁中、191～209 頁
10. 韓国エネルギー政策の新たな模索:東北亜エネルギー協力構想	単著	2005年11月	現代韓国朝鮮学会『現代韓国朝鮮研究』第5号	[査読付き]、総頁数 79 頁中、44～56 頁
11. 日韓の地域レベル交流に関する一考察	単著	2003年3月	早稲田大学	[修士論文]、総頁数 102 頁
(学会発表など)				

1. 朝鮮総督府時代における鉱物資源政策の実状—未公開録音記録資料からの考察	単独	2014年9月	東北学院大学アジア流域文化研究所主催 公開講演会	[招聘講演] 東北学院大学
2. 日帝都市形成と鉄道資源	単独	2014年7月	韓国鉄道文化財団・韓国鉄道施設公団主催	韓国・近代歴史博物館
3. 三つのキーワードから考察する現代日本政治	単独	2012年12月	韓国・仁川国際交流センター主催市民講座	[招聘講演] 韓国・仁川国際交流センター
4. 朝鮮半島をとりまく国際情勢と非核化の現状	単独	2010年6月	国際高麗学会	立命館大学
5. KEDO後の非核化問題	単独	2010年1月	学習院大学東洋文化研究所主催国際シンポジウム	学習院大学
6. Hatoyama in Power: Implications to the World	共同	2009年12月	学習院大学政治学研究科、政策評価・公会計研究会	学習院大学
7. 今日の日本と朝鮮半島の関係—秩序変動のなかでの日本の選択—	単独	2009年7月	立命館大学コリア研究センター次世代フォーラム	立命館大学
8. 東北アジアにおける秩序再編	単独	2008年8月	立命館大学コリア研究センター次世代フォーラム	立命館大学
9. 学習院大学東洋文化研究所所蔵資料と国際学術交流	単独	2008年5月	韓国成均館大学との共同ワークショップ	韓国・成均館大学校
10. 北東アジアにおける多国間協力と日本の関与に関する考察	単独	2007年7月	韓国日本学連合会国際シンポジウム	韓国・誠信女子大学校
11. 日本の安全保障政策の変容過程と朝鮮半島	単独	2006年7月	韓国日本学連合会国際シンポジウム	韓国・韓南大学校
12. The South Korean Initiative: the Concept of Northeast Asia Energy Cooperation	単独	2005年5月	Clingendael International Energy Programme	[招聘講演] オランダ・ライデン
13. 朝鮮半島をめぐるエネルギー協力：KEDO	単独	2003年11月	現代韓国朝鮮学会	東京大学
(その他) A[翻訳]				
1. 李吟昊「李卓吾と朝鮮儒教」	単訳	2011年1月	馬淵昌也編著『東アジアの陽明学—接触・流通・変容』東	総頁数450頁中、195～215頁

			方書店	
2. 李宝栄「世方化と東アジアの経済特区の比較」	単訳	2010年12月	鐘江宏之・鶴間和幸編著『東アジア海をめぐる交流の歴史的展開』東方書店	総頁数 317 頁中、297～315 頁
3. 金成鶴「比較史的側面からみた梅謙次郎の法思想と朝鮮における民法典構想の意義」	単訳	2009年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第11号に収録	総頁数 768 頁中、99～136 頁
4. 孫炳圭「電算化を契機とする朝鮮王朝戸籍研究の新たな地平」	単訳	2008年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第10号に収録	総頁数 575 頁中、197～214 頁
B[編集・校註]				
1. 未公開資料 朝鮮総督府関係者 録音記録 (16) 一九一〇年代の朝鮮総督府	共同 (校註)	2015年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第17号	監修：宮田節子、解説：松田利彦 校註：宮本正明、李正勲、通堂あゆみ、辻大和 総頁数 570 頁中
2. 未公開資料 朝鮮総督府関係者 録音記録 (15) 日本統治期の朝鮮鉄道	共同 (校註)	2014年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第16号	監修：宮田節子、解説：李容相 校註：宮本正明、李正勲、通堂あゆみ、辻大和 総頁数 514 頁中、115～237 頁
3. 未公開資料 朝鮮総督府関係者 録音記録 (13) 京城帝国大学時代の回顧	共編	2012年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第14号	監修：宮田節子、解説：通堂あゆみ 共編：田中隆一、宮本正明、通堂あゆみ、辻大和、李正勲 総頁数 653 頁中、421～562 頁
4. 未公開資料 朝鮮総督府関係者 録音記録 (12) 植民地朝鮮における専売制度	共編	2011年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第13号	監修：宮田節子、解説：田中正敬 編集：岡本真希子、田中隆一、宮本正明、通堂あゆみ、李正勲 総頁数 623 頁中、393～511 頁
5. 未公開資料 朝鮮総督府関係者 録音記録 (11) 朝鮮の重工業	共編	2010年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第12号	監修：宮田節子、解説：広瀬貞三 共編：岡本真希子、田中隆一、宮本正明、通堂あゆみ、李正勲 総頁数 558 頁中、307～450 頁
6. 未公開資料 朝鮮総督府関係者 録音記録(9) 植民地朝鮮農村に生きた日本人	共編	2008年3月	学習院大学東洋文化研究所『東洋文化研究』第10号	監修：宮田節子、解説：松本武祝 共編：岡本真希子、田中隆一、宮本正明、李正勲 総頁数 768 頁中、519～647 頁